

# かけはし

近畿島根県人会だより

## 第92号

令和4年2月1日発行

は、令和2  
メンバ  
付けまし  
た。  
社中」と名  
より「舞姫  
表作「舞姫」  
森鷗外の代  
とする文豪・  
地方を代表  
だき、石見  
ご提案いた  
田市長から  
保田章市浜  
中名は、久  
ました。社  
の神楽同好  
会を発足し  
ました。社



女子神楽同好会「舞姫社中」設立会

島根県西部の伝統芸能である「石見神楽」が令和元年の5月に日本遺産に認定されました。現在、浜田市内において神楽団体は50社中以上ありますが、女性の参加は奏楽の笛や手拍子や女性役に限られています。この伝統芸能である「石見神楽」を女性が中心となり、演舞と奏楽によって、男性中心でつくられた「石見神楽」の伝統に、女性ならではのしなやかさを生かし、それに優雅さと奥深さが加わり、更に芸術性を高め新しいイメージで石見神楽を盛り上げ、地域文化の発展に貢献したいとの思いで令和3年4月に女性だけの神楽同好会を発足しました。社中名は、久保田章市浜田市長からご提案いただき、石見地方を代表とする文豪・森鷗外の代表作「舞姫」より「舞姫社中」と名付けました。

年8月から令和3年2月まで公募し、浜田市内を中心に大阪府や山口県等に住む18〜76歳の20人の応募があり、月3回石見文化ホールに集まり練習をしています。指導は、浜田石見神楽社中連絡協議会（浜田市内11社中）より毎回約20名を派遣していただいております。

設立会では、浜田市長をはじめ市内社中の代表者40人にご出席いただき、1人1人が抱負を述べました。

最初に取り組んだ演目は、石見神楽を志す神楽舞の基本となる儀式舞「塩祓（しおはらい）」です。幣や扇子の細かい所作の指導を受け、6月には、初めて衣装を身に着けて舞台の上で練習の成果を堂々と発表しました。その後は、令和4年3月20日の初舞台で演ずる「恵比須」と「大蛇」と「奏楽」に分かれ繰り返し練習に励んでいます。

メンバーの年齢や住む場所は違いますが、みんなの気持ちは「石見神楽が大好き」の熱い思いです。女性ならでは



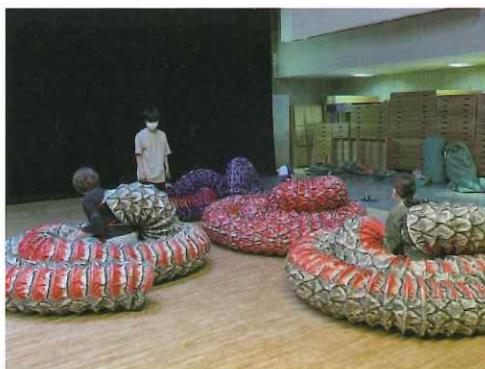
女子神楽同好会「舞姫社中」メンバー

## 石見文化ホール女子神楽同好会「舞姫社中」結成 新たに拓く石見神楽の魅力

はのしなやかな舞や柔らかな表現は舞姫社中の魅力になると確信しています。

地域の神楽社中、市民、観客の三者の交流、併せて成果発表を通じて、微力ながら石見神楽の新しい魅力を広く発信し、地域文化の振興と発展を目指したいと思っています。

近畿島根県人会の皆様にも、女性だけの石見神楽でお会い出来る日を楽しみにしています。皆様の前で披露できるように伝統技術の習得に精進して参ります。



初公演にむけての練習風景

### 【お問い合わせ】

島根県浜田市黒川町4175番地  
石見文化ホール

TEL: 0855-2212100

石見文化ホール女子神楽同好会「舞姫社中」事務局

川神 真由美



# 隠岐の島町は、豊中市と「森林環境保全に関する

## 自治体間連携協定」を締結しました。

隠岐の島町は、島根半島の沖合、北東約80kmの日本海上に位置しており、面積242.82km<sup>2</sup>を有する隠岐諸島最大の島です。また、島の周辺全域は、昭和38(1963)年に大山隠岐国立公園に指定され、日本海の雄大な景色や急峻な山並みなど、風光明媚な景観を有しています。



そんな我が町、隠岐の島町(以下、「町」)がこの度、大阪府豊中市(以下、「市」)と「森林環境保全に関する自治体間連携協定」を締結しました。この協定は森林面積の少ない市と、森林面積が全体の87%を占める町が、双方の地域特性を生かし、環境の分野において相互に協力し、森林の保全に関わる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)吸収量の増加、持続可能な活力ある地域づくり及び未来を担う人材育成を図り、脱炭素社会の構築やSDGsの推進などに寄与すること等を目的とするものです。

具体的には町は市から寄付を受けることで森林保全を行い、市は島根県からCO<sub>2</sub>吸収認



証を受けることから連携をはじめます。そして今後は木材の有効活用や自然とのふれあい、環境学習を連携して取り組んでいきます。

同市とはこれまで「空港で結ぶ友好都市提携に関する協定」を結んでおり、少年・壮年軟式野球交流や豊中まつりへの出展など、友好関係を築いてきました。この協定をきっかけとして、両市町の絆が一層深まっただけのものと思います。



### 【お問い合わせ先】

隠岐の島町役場 農林水産課

TEL: 085121218563



こんにちは

# 近畿湖陵会です。

近畿地方で活動される市町村人会のご紹介です。  
第27回は、近畿湖陵会のご紹介です。

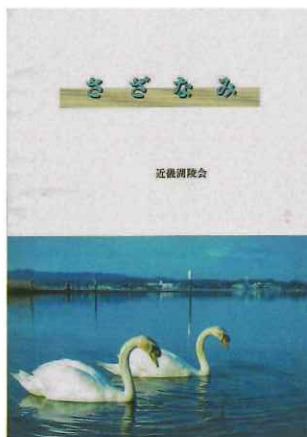


近畿湖陵会 会長 石飛 司  
7年（1995年）9月24日、會員相互の親睦と、出雲市（湖陵町）との情報交換に

よる弊会及び湖陵町の発展を図る事を目的として、近畿地区に居住する湖陵町出身者及び湖陵町に縁故のある方々によって組織されました。

初代会長は野津恒雄、第2代は前畑忠夫（前・尼崎島根県人会長）、第3代は佐藤暁、現在は第4代の石飛司と続いております。

現会員数は203名（令和3年10月末現在）、年会費として一世帯当たり2,000円を頂戴



近畿湖陵会  
会報「さざなみ」



10周年ふるさとツアー  
（2004年9月 吉岡隆徳記念碑前）

し、運営費の一部に充てております。

また、この2年間はコロナ禍による自粛を余儀なくされておりますが、主な活動としては、毎年5月開催の「総会・懇親会」、及び「錦秋ハイキ

ング」を実施しており、その他、設立記念年度（5年毎）の「ふるさとツアー」、ゴルフ等の同好会活動や、他の出身者会主催の会合等への参加もしております。

弊会も、近年は会員の高齢化が進んでおり、若い世代の会員の勧誘が急務となっておりますので、進学・就職などを機会に近畿地区在住となられる方々のご入会は大



15周年ふるさとツアー  
（2009年9月 出雲大社拝殿前）

歓迎致します。なお、お問い合わせ等は、事務局にて承りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



20周年ふるさとツアー  
（2014年10月 佐志武神社神事華前）

## 【お問い合わせ先】

### 近畿湖陵会事務局

事務局長 三原 朋行

〒612-8487

京都市伏見区羽束師菱川町 511-1-515（三原方）

TEL: (075) 924-5846

FAX: (075) 924-6282

Email: creek.mihara@nifty.com



# 「美肌県しまね」の美肌・おもてなし〜松江・出雲〜

松江ニューアーバンホテル／美肌スパルム湖夕

湯の川温泉四季荘／「美肌県しまね」をサウナで活性

宍道湖畔に位置する「松江ニュー

アーバンホテル」では、既設の茶室から、松江しんじ湖温泉を引いた内風呂付き客室へ改修をし、美肌を追求した『美肌スパルム湖夕』をオープンしました。化粧品

会社の株式会社ボーラ様ご協力

のもと、当館オリジナルの『美肌指南書』に加え、地元のパーソナルトレーナー監修の『美肌・美活ストレッチ』の開発を行いました。

客室内にはストレッチ用の専用ツールのほか、島根県産ハーブティ、アロマオイル、美顔ローラー等の美顔グッズを設置しております。夕食付きプランでは、美肌食材を使った『美肌会席』や『美肌フレンチ』をお召し上がりいただけます。

宍道湖を一望するレストランでのひと時とともに美肌旅をご堪能下さい。



内風呂

【お問い合わせ先】

松江ニューアーバンホテル

松江市西茶町40-1

TEL: 0852-23-0003

「湯の川温泉 四季荘」のお薦めは、医学的にも未知な部分が多い「とこのう」が体感できる、そんな魅力を持ったサウナと美肌をメインにした『サウナで美活』です。

2021年に、本格フィンランドサウナ『ロウリュウサウナ』を新設。この『ロウリュウサウナ』は中温多湿のサウナ、アロマウォーターの蒸発により、より深いリラククス効果や、マイルドな発汗作用を得られます。

サウナ室には、日本初セパレート式サウナ。パーソナルスペースの確保でより一層のリラククス効果を高めます。

泉質は、「日本三美人の湯」を100%使用し、常時15℃まで冷やした水風呂は水深160cm。火照った身体に「優しい滑らかな水」はまさに『全身で浴びる化粧水』です。



自然に囲まれたリラックスエリア



日本初セパレート式サウナ

リラククスエリアでは、風の音、鳥のさえずりなどを全身で感じ、脳がリラククスしている瞑想状態、「とこのう」をご体感いただけます。都市型サウナには無い島根の自然を活かした『とこのう魅力』を是非一度ご体感していただきたいと思います。

【お問い合わせ先】

湯の川温泉 四季荘

出雲市斐川町字頭1369

TEL: 0853-72-6525



# 関西エリアにおけるイベント情報

## 「しまねの木」特別展示会

大阪・南港ATCにて、しまねの木「特別展示会」を開催しております。無垢床暖対応杉フローリングやヒノキベッド、焼杉外壁サイディング、ウッドデッキやフェンスまで、いろいろ揃えておりますので、ぜひお立ち寄りください。

2月4日には、建築作品「兵庫県・六甲枝垂れ」などで、著名な建築家三分一博志(さんぷいちひろし)氏をお招きして、セミナーを開催します。



しまねの木特別展示会



島根木材常設展示場

### 〔場所〕

大阪市住之江区南港北2-1-10

ATCビル ITM棟9階

IHP内「WOOD MEETS」

特設展示会場

\*大阪メトロニュートラム

「トレッドセンター前」

下車すぐ

### 〔期間〕

令和3年10月1日(金) -

3月20日(日)



「しまねの木」  
特別展示会  
QRコード

## 子どもお店バトル開催のご報告

昨秋10月23日(土)に大阪・生野本通中央商店街において、「子どもお店バトル」が開催されました。地元の小学生と高校生がチームを組み、仕入れから販売まで行い、20道県の物産品の販売利益を競いました。島根県ブースでは、島根県大阪事務所からお手伝いし、のどごろと蟹のふりかけや、吉田くんクッキー、しまねこクッキー、どじょう掬いまんじゅうなどを販売し完売しました。



島根県ブースの様子



# 近畿島根県人会事務局からのお知らせ

## 近畿島根県人会 会員募集

お知り合いの方で当県人会にご興味がある方がおられましたら、事務局までご連絡ください。活動内容や入会方法等をご説明いたします。

なお、今年度も新規入会促進キャンペーンを実施します。先着70名の新規入会者の方へ県産品をプレゼント。

**\*市町村人会会員の方で、県人会未加入の方へぜひお声がけ願います。**



「故郷応援団～みんなで楽しむ近畿島根県人会～(懇親会)」の様子(2019年11月)

## ふるさと物産品応援

### キャンペーン期限

コロナ禍で販売が激減している県内事業者を応援するため、ふるさと物産品応援キャンペーンを実施していますが、「ふるさと島根産品応援券」の使用期限が近づいています。**期限は令和4年3月31日までです。**

昨年11月にお送りしました「島根の特選ギフト冬・春 しまねのふるさと直送便」、「近畿島根県人会ふるさと応援企画 島根の地酒」および島根県物産観光館での買い物に使用できます。この機会にぜひお買い求めください。

## 「お知らせメール」登録者募集中!!

「島根県大阪事務所からのお知らせ」(メール配信)は、関西・東海地方における島根県関係のイベント情報等をお届けするものです。随時ご登録いただいたメールアドレスにお届けします。**近畿島根県人会会員様の中で、未登録の方はぜひ「お知らせ」メールにご登録ください。**



お知らせメール QRコード

## 近畿島根県人会ホームページのご案内

近畿島根県人会ホームページでは、近畿島根県人会の紹介、活動報告、機関紙、市町村人会、お知らせ、イベント情報、縁結び美味しまね認証店等を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。



近畿島根県人会ホームページ QRコード

## 近畿島根経済倶楽部のご案内

近畿島根経済倶楽部は、近畿地区で活躍する島根県出身の経済人の会として、昭和31年に創設され、研修会等を通じて、会員相互の親睦と啓発、故郷島根や全国の島根出身経済人との交流を深めるための活動を行っています。

また、島根県の情報の収集発信や、島根産品の関西圏での販路拡大への協力など、島根県と関西圏の経済交流の促進に努めております。

故郷島根への様々な関わりを持ちたい皆様のご入会をお待ちしております。

事務局の島根県大阪事務所までお問い合わせください。



近畿島根経済倶楽部のご案内QRコード

## 異動の連絡

住所・連絡先・勤務先等に変更がございましたら、近畿島根県人会「会報」巻末の「異動通知連絡票」をご提出ください。また、記載事項に誤り等がございましたら事務局までご連絡ください。

ご理解とご協力をお願いいたします。

## 交流サロンのご利用

県人会・市町村人会・県内高校OB会の皆様が自由に情報交換していただくため「交流サロン」をご利用ください。

〔利用日時〕 月曜日～土曜日の8:30～20:00

\*日・祝日は終日、ご利用できません。

〔申し込み〕 事務局までご連絡ください。

〔場所〕 島根ビル2階

(大阪市北区西天満3-13-18)

## 各市町村へ情報提供のお願い

各市町村より、近畿島根県人会会員様向けの情報がございますら、事務局までご連絡ください。



# かけはし

近畿島根県人会だより

## 号外

令和4年2月1日発行

この度、島根の歴史について、書籍の執筆実績のある、島根県大阪事務所の田中博一氏に、島根と近畿の歴史に関連するコラムを連載いただきます。

## 近畿・島根歴史探訪コラム

### 浜田藩開府四〇三年と古田重治

三年前（二〇一九年）、浜田市で浜田藩開府四百年祭が開催されました。浜田藩は伊勢国（現三重県）の松坂藩から古田家が転封されたことから始まり、その初代藩主が古田重治となります。

二〇〇〇年代には、全国各地で□□藩開府四百年や、△△城築城四百年といった区切りで祭りやイベントなどが開催されていました。大阪城でも大坂の陣四〇〇年のイベントなどが開催されたようです。

戦国大名が藩主と呼ばれるようになる時代、その最後の大戦ともいえるのは一六一五年の大坂の陣です。浜田藩の開府はその四年後ということになり、関ヶ原の合戦で敗れた毛利輝元が去ってから古田重治が入部するまでの期間、浜田は幕府の直轄領扱いだったよう

です。

なぜそのような扱いとなったのか、記録がありませんので理由は

不明ですが、色々な資料を付け合わせながら想像力を働かせると面白いものが見えてきます。



浜田城 二ノ門跡

古田重治が浜田に移った後、松坂藩は隣の紀州藩と合併したことで廃藩となり、そこには徳川家康の十男である徳川頼宣が入り、いわゆる徳川御三家と呼ばれる紀州徳川家が成立します。それまで紀州藩を治めていた浅野幸長もその余波を受けて転封となります。転封先は広島藩四〇万石。古田重治と浅野幸長は転封後も隣藩として領地を治めることになりました。

このことから転封の





二ノ門と三丸の曲輪石垣

理由を想像すると、  
一、五五万石という紀州徳川家を成立させるのに松坂藩と紀州藩は好都合な立地だった。  
二、徳川家の想定敵国は、大坂の陣以前は大坂城の豊臣秀頼であり、それ以後は薩摩藩と長州藩である。その想定敵国の近くに信頼できる家臣を配置したかった。

などが考えられますが、いかがでしょう？  
実際、幕末の長州征伐では紀州藩が浜田藩、広島藩を率いて長州藩と合戦をしており、その意味では幕府の想定どおりの展開であったのかもしれませんが。（結果は想定どおりではなく、長州藩に破れましたが）

ともあれ、古田重治が浜田城を築城して浜田藩に入部したのは、大坂の陣が終わって平穏な時期でもありました。また、浜田城は幕府から一国一城令が出されたのちに築城された数少ない城の一つになります。  
浜田と松坂の意外な繋がりには、江戸時代にも続きます。



浜田城から日本海を臨む

#### 「コラム筆者：田中博一氏のご紹介」

島根県邑南町出身。農業普及員（花き専門）、島根県農業技術センター等を経て、令和三年四月から大阪事務所勤務。著書に『石見戦国史伝』『浜田城史伝』（ハーベスト出版）があり、島根の歴史をわかりやすく紹介している。

#### 「本の紹介『浜田城史伝』」

石見国の浜田藩と聞いて何を連想するでしょうか？ 地味で目立たない印象の小藩ですが、今回のコラムで紹介しました藩の成り立ちから、幕末の長州征伐での終焉まで眺めれば、様々なドラマが見えてきます。

『浜田城史伝』はその歴史の流れを、様々な登場人物の視点でドキュメント仕立てで紹介しています。意外と知られていない郷土の歴史をこの機会に是非ご覧ください。

